

# のびる 松っ子

～明るく 楽しく 前向きに～



令和4年10月5日  
大村市立松原小学校  
学校だより No. 15  
文責：校長 永富伸介

## 10月になりました



早いもので10月となりました。とは言え、まだまだ日中の暑さは続きます。それでも、少しずつ秋の深まりも感じられつつありますね。先日、新聞でも大きく取り上げられていましたが、9月15日(木)には、今年度第1回目の「カキ殻による水質浄化実験」がありました。長崎大学板山教授指導の下、6年生が水の浄化の仕組みや今後の測定の仕方について学習しました。身近にあるカキ殻や炭に水質を浄化する働きがあることやその目的について考えることができました。2月には発表会も計画されています。よりよい学びができそうです。

また、9月12日(月)には大村市教委北島先生から、5年生がタブレットPCを使って「プログラミング学習」をしました。「スクラッチ」というソフトを使って、キャラクターに命令を出して、命令通りの動きができるかを確認していくものです。プログラムの内容を理解しながらどちらも目的を理解して、筋道を立てて考えていくことが大切です。「学びの秋」も充実させていきます。

## ぶくぶくタイム



2学期から、「フッ化物洗口」(ぶくぶくタイム)を再開しています。口腔内の衛生を保つことは、歯の健康はもとより、感染症の防止にもつながるからです。学校歯科医の峰先生からいただいたアドバイスも生かしながら、毎週金曜日を実施しています。洗口液を口に含んで約1分間、CDの曲に合わせてうがいを繰り返します。1年生は、初回だけ水で練習しました。今では洗口液にも慣れてきたようです。全県的な取組のおかげで一人平均のおし歯数は減少傾向にあるそうです。御家庭での歯磨き指導にも御協力ください。

## お知らせ1

令和2年の豪雨の影響による郡川の護岸工事が現在も行われているそうです。被害の爪痕はまだ深く、まだまだ復旧までには長い時間がかかるそうです。今回は、郡川から支流につながる取水口の工事が始まるのだそうです。そこで、松原小に隣接している北部グラウンドの一部を工事で使うコンクリートブロックや土嚢置き場として使用されるそうです。期間は10月7日(金)~2月28日(火)までとなっています。その間10トントラックが運搬のために北部グラウンドに出入りします。登下校の時間帯は通行を控えていただくようお願いしていますが、日祝日以外は車の行き来があるようですので、お気を付けください。学校でも指導を行います。

## お知らせ2

皆さん御存知のことだとは思いますが、この10月から3月まで、帰宅時間は17:00までとなっています。防災無線からも「夕焼け小焼け」の音楽でお知らせがっていますが、各御家庭でも帰宅時間について改めて御確認ください。平日の放課後に遊ぶ約束をしていた子どもたちが解散の時間を「16:50」にしていました。17:00までに家に帰り着くためだそうです。さすが松っ子。「かしこく」「たくましく」育っていますね。

## 10月の予定

4日(火) 認知症サポーター養成講座 (4年)	14日(金) 縦割り掃除開始 スクールコンサート(5年) 英会話放課後子ども教室	26日(水) 就学時健康診断 委員会活動
6日(木) 修学旅行説明会(6年) 15:30~ 6年教室	16日(日) 校内クリーンアップ 航空写真撮影	27日(木) 小体祭予備日 読書週間(~11/9)
7日(金) にじそら交流遠足 英会話放課後子ども教室	17日(月) 読み語り(1・3・5年)	28日(金) にじ色集会(図書) 英会話放課後子ども教室
10日(月) スポーツの日	18日(火) 宿泊学習(5年 ~19日) (県立千々石少年自然の家)	30日(日) 校内クリーンアップ予備日
11日(火) 避難訓練(地震) 育友会費集金(~17日)	21日(金) 小体祭激励集会 英会話放課後子ども教室	31日(月) 全校朝会(表彰)
12日(水) 避難訓練予備日 クラブ活動	24日(月) 小体祭前日準備	
13日(木) ミライon見学 (2年・にじそら)	25日(火) 第73回市小学校体育祭	

## トイレののれん



1学期に「性の多様性」というテーマで養護教諭の井川先生から高学年を対象に保健指導がありました。その時の感想に、この学校の男子トイレは中の様子が外から見えやすいことが気になると思ったそうです(ちなみに男子からの意見)。なるほど、その通り。私も気にはなっていたものの声を上げる訳でもなく、気にしている子どもがいるはずだ、ということにも思いが至りませんでした。こうした子どもの声にもっと耳を傾けられようにならねば、と反省させられました。

そこで、少しでも快適にトイレが使用できるようにと、用務員の田崎さんが1階から3階分ののれんを布地から家庭科室のミシンできれいに縫い上げていただきました。また、普段私たちが当たり前のように学校で過ごしているのは、多くの方が様々な形で支えてくださっているからなのです。大切なのは感謝の気持ちを忘れないこととそれを言葉に乗せることだと思います。ありがとうございました。